

海峡越えて

松下幹生

裳裾の乱れを 気にもせず
雪降る中を
駅に向かって 駆け出す私
あなた あなたを 追いかけて
雪の函館 北の街
あなたは1人 汽車に乗り
私を置いて 出て行った

立待岬で 名を呼べば
空しく響き
雪がかき消す 海峡しぐれ
あなた あなたを 恋焦がれ
雪の函館 北の駅
あなたを追って 汽車に乗り
津軽海峡 超えてゆく

あなたの面影 追い求め
青森の地で
噂聞きつけ 訪ねてみれば
あなた あなたが 待っていた
二人で暮らす マンションを
あなたは探し 私呼ぶ
手はずだったと 抱きしめる